



(参考仮訳)

プレスリリース No. 11/417  
即時解禁  
2011年11月16日

国際通貨基金 (IMF)  
米国・ワシントン DC

**アントニオ・ボルヘス IMF 欧州局長、IMF 退職の意思を表明。  
IMF 専務理事、次期欧州局長にレザ・モガダム氏、  
次期戦略政策審査局長にシダート・ティワリ氏を任命へ**

国際通貨基金 (IMF) のアントニオ・ボルヘス欧州局長は、クリスティーヌ・ラガルド専務理事に、個人的理由により IMF を退職する意思を伝えた。2010年11月に現職に就任した ([プレスリリース No.10/400](#) を参照) ボルヘス氏は、直ちに職責を返上する。専務理事は、理事会に対し、ボルヘス氏の後任にレザ・モガダム現戦略政策審査局長を、またモガダム氏の後任に、シダート・ティワリ現秘書局長を、それぞれ任命する意向を伝えた。両氏は、11月17日付けで就任することになる。

専務理事は、IMF 理事会に対し以下の声明を発表した。

「欧州ユーロ圏の加盟国が非常に困難な局面にある時に、アントニオ・ボルヘス氏は、欧州局を率いてきた。同氏の官民両部門および学界での幅広い経験は、加盟国当局との力強い関係を構築する能力と共に、危機への対応において非常に価値あるものであった。

レザ・モガダム氏が、前職にて示したような戦略的ビジョン、熱意、熟慮を、欧州における我々の業務に活かすことを期待する。また、シダート・ティワリ氏のこれまでの IMF における優れた業績やリーダーシップを評価し、同氏は、現在の困難な時期において、戦略政策審査局長に就任するに十二分に相応しいと確信している」